



自転車の安全利用について 【交通安全対策委員会活動報告】



松原市セーフコミュニティ 交通安全対策委員会



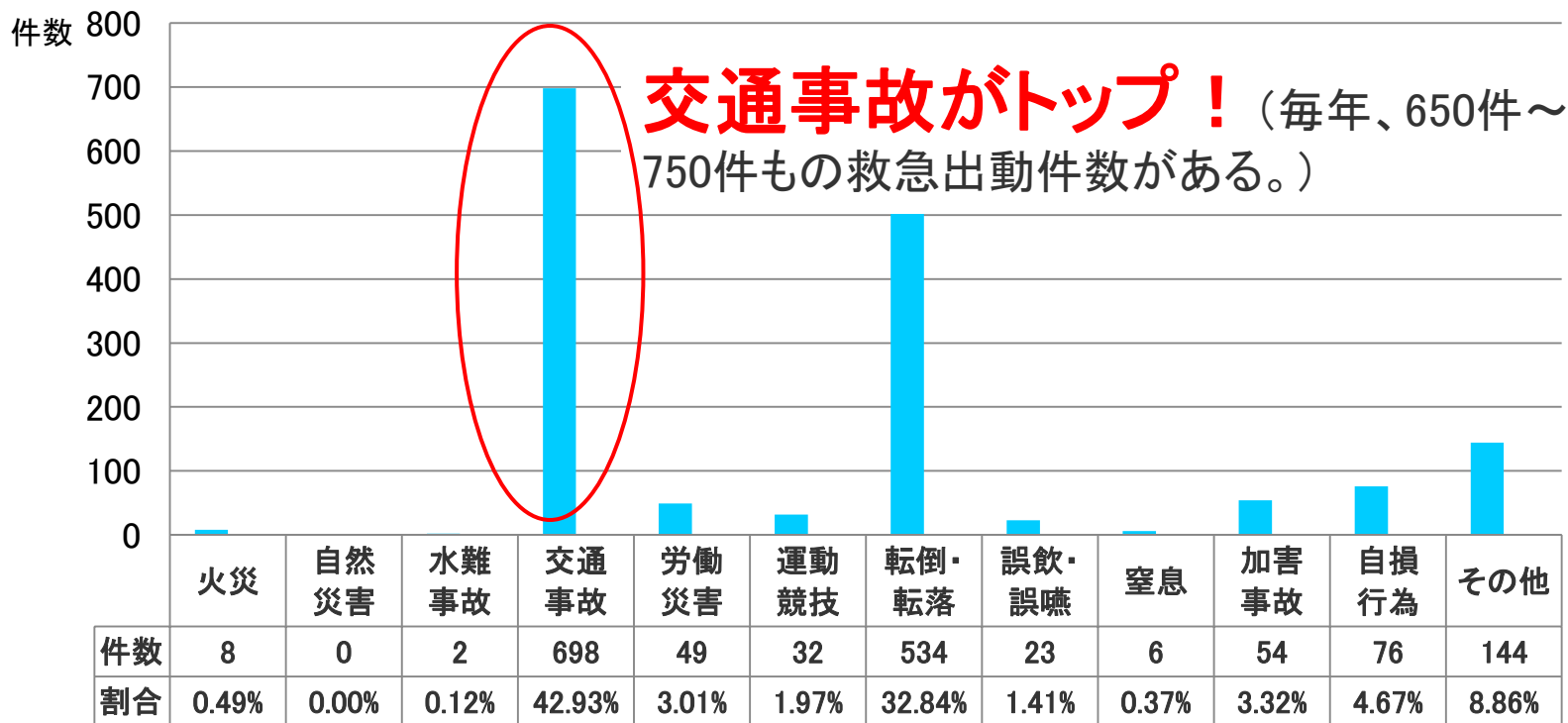
報告者：交通安全対策委員会 委員長 飯尾 源明
所 属：松原交通安全協会 会長



なぜ交通安全対策に取り組むのか？

外傷・事故別救急出動件数

出典：救急搬送データ(2006～2011の平均)



外傷・事故による救急搬送の40%以上が交通事故によるものである。

交通安全対策委員会設置



対策委員会の構成

交通安全対策委員会

住民組織

松原交通安全協会
【2】

自治会連合会
【6】

松原市老人クラブ連合会
【1】

松原市PTA協議会
【1】

松原市青少年指導員協議会
【1】

行政機関

大阪府富田林土木事務所
【1】

松原警察署
【1】

松原市
【5】



交通安全対策委員会の取組の経緯

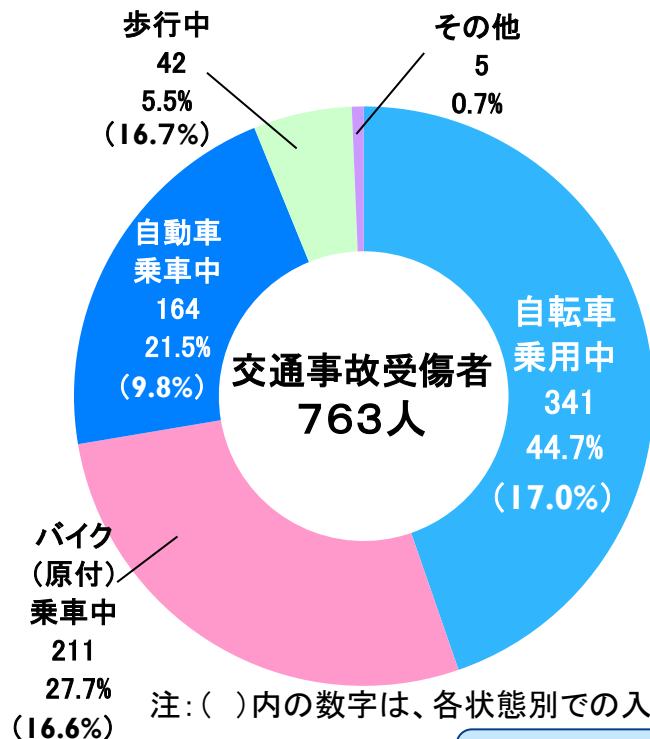
開催日		回	主な会議内容
2011年	12月13日	第 1回	セーフコミュニティの概要について勉強会
2012年	1月25日	第 2回	交通事故データに基づいた課題・成果の検討
	3月 8日	第 3回	課題解決のための取組について検討
	5月18日	第 4回	取組にかかる指標等について検討
	7月 2日	第 5回	取組内容について検討
	9月28日	第 6回	対策委員会間の情報共有のため合同会議開催
	10月29日	第 7回	事前審査での発表
	12月12日	第 8回	事前審査の講評内容の共有と取り組みの推進について
2013年	2月 6日	第 9回	取り組みの推進について(安全マップづくり)
	3月 6日	第10回	安全マップ作成に必要なデータの収集と検討
	5月 8日	第11回	本審査での報告資料について検討
	7月24日	第12回	対策委員会間の情報共有のため合同会議開催



交通事故の状況は・・・(分析1)

交通事故発生状況

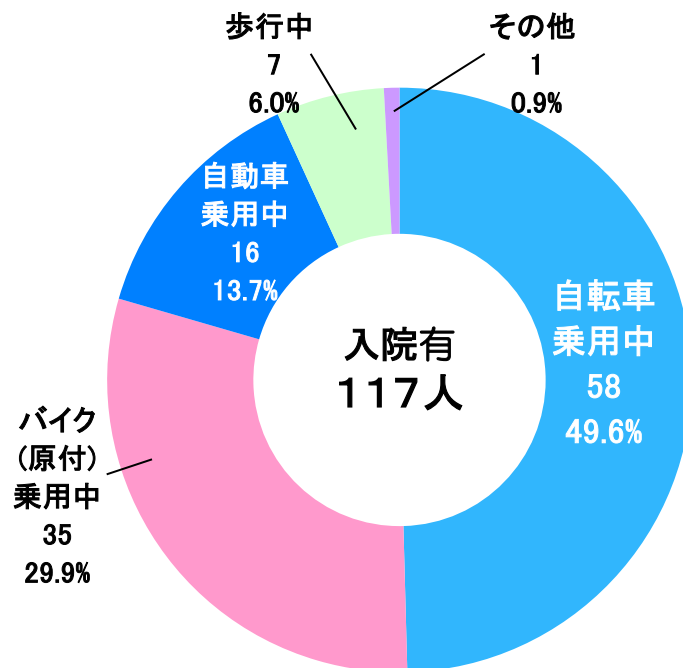
交通事故全体



交通事故による状態別救急搬送割合
出典:救急搬送データ(2011)

入院に至った人の状況

交通事故全体



自転車乗用中の受傷が多い

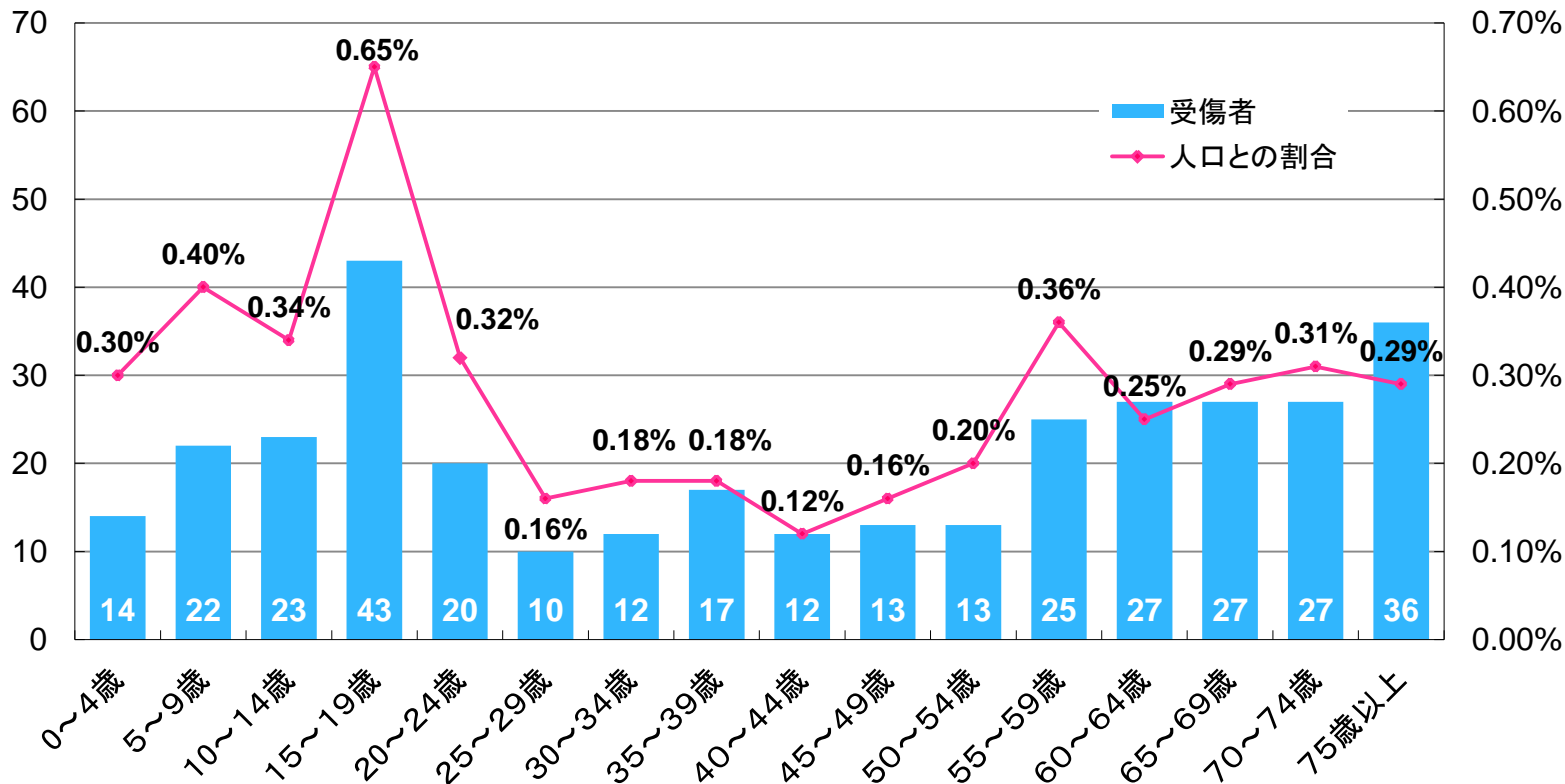
自転車の安全利用について取り組む！



自転車乗用中受傷者を年齢別で見ると・・・(分析2)

自転車乗用中受傷者の年齢別救急搬送人数と各年齢層別人口との割合

出典:救急搬送データ(2011)



子ども(未成年者)の事故が多く、次いで高齢者に多い



事故の状態は・・・(分析3)

警察統計データを分析

交通事故における加害者・被害者の状態別件数 出典:警察統計データ(2011)

		自動車	バイク	自転車	その他 車両	歩行者	その他	合計 (件)
加害者		638	74	4	0	0	16	732
被害者	違反あり	47	143	188	1	24	15	418
	違反なし	211	27	47	0	27	0	312

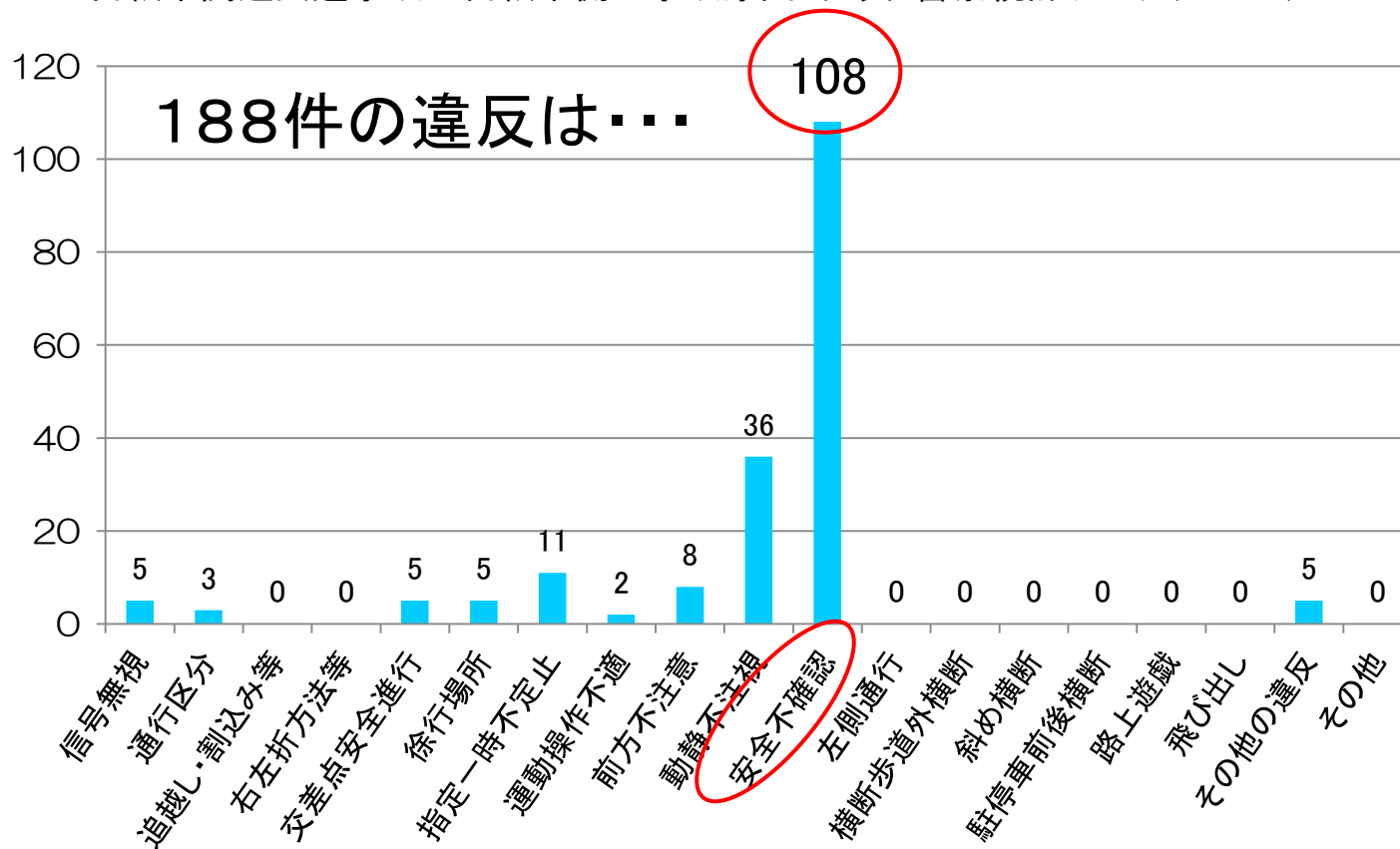
加害者	交通事故に関連した人のうち過失が重いものをいい、過失が同程度の場合は被害が最も軽いものをいう。
被害者	交通事故に関連した人のうち過失のないものか、過失がより軽いものをいい、過失が同程度の場合は被害がより重いものをいう。

自転車乗用時の事故の場合は、被害者になるケースが多いものの、ルール違反をしている割合が高い



違反の内容は・・・(分析4)

自転車関連交通事故の自転車側の事故原因 出典:警察統計データ(2011)



安全不確認が半数以上



警察データによる自転車事故は・・・(分析5)

2011年238件の自転車関連事故有

出典:警察統計データ(2011)

場所	交差点等		単路			踏切	
	交差点	交差点付近	カーブ屈折	トンネル	橋		その他
	134	8	4	0	0	92	0

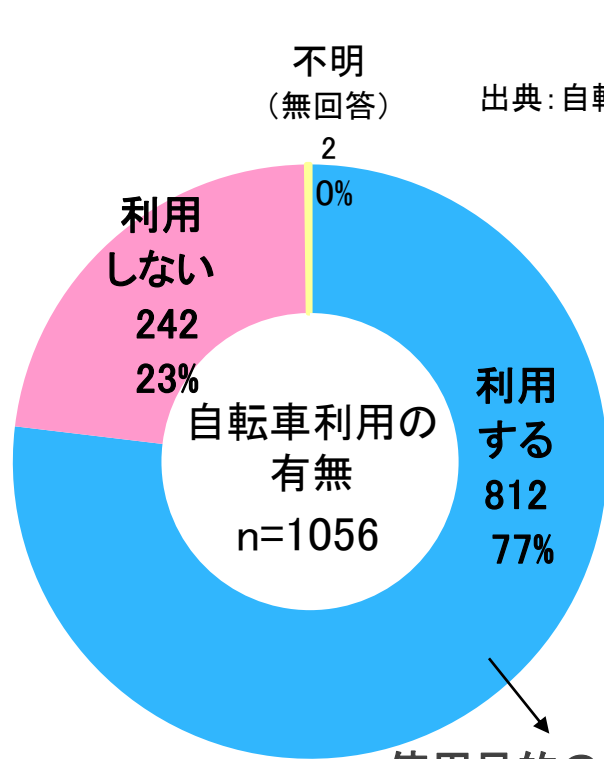
相手	件数
自転車と自動車	184
自転車とバイク	44
自転車と歩行者	2
自転車と自転車	1
自転車単独	1
自転車と車両不明	6

交差点などでの
自転車と自動車の
事故が多い



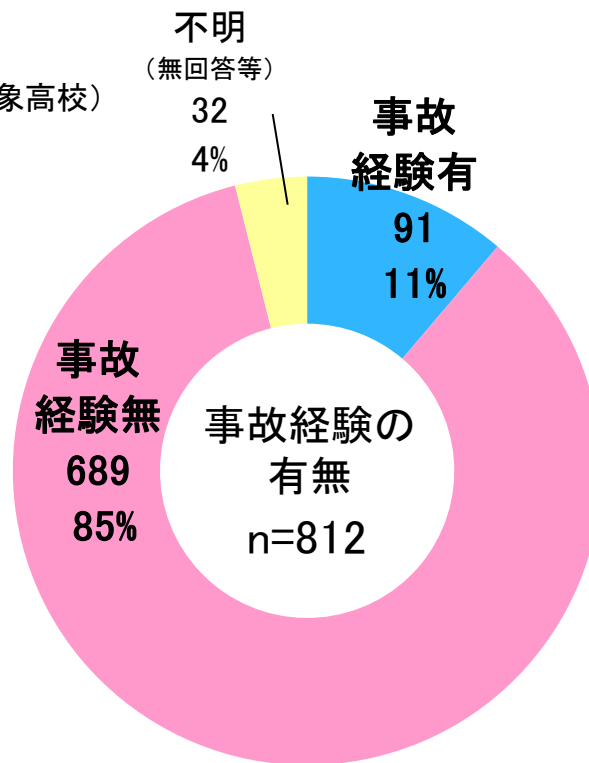
自転車利用についてのアンケート(分析6)

高校生(事故の多い年齢層)にアンケートを実施すると...



使用目的のトップは、通学!

「(問) どのような時に自転車を利用しますか? (回答) 通学→622人」



自転車の利用率は高く、利用者の10%は事故を経験している



自転車の交通ルールは・・・

自転車安全利用5則

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子ども(13歳未満)はヘルメット着用(保護者の努力義務)



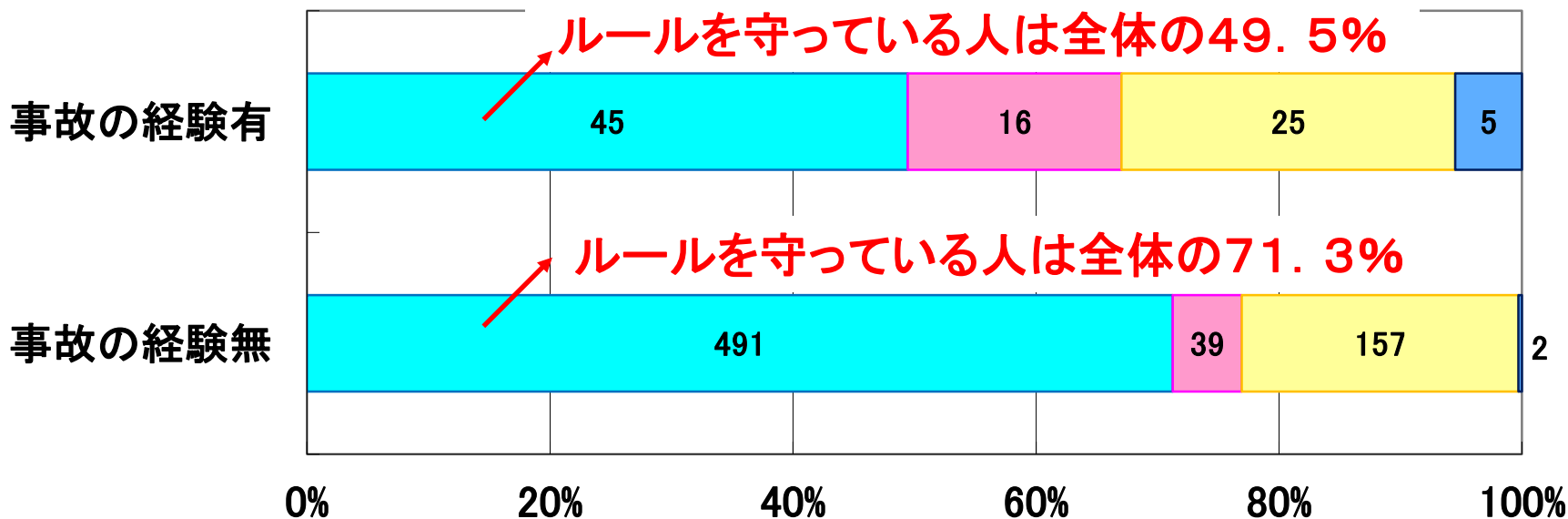


自転車利用についてのアンケート(分析7)

自転車安全利用5則についてのアンケートからは・・・

交差点での一時停止・安全確認についての遵守率

- 知っているのに、守っている
- 知っているが、守っていない
- 知らなかった
- その他(無回答)



出典: 自転車利用アンケート(対象高校)

事故経験者のルール遵守率は低い
特に交差点でのルールにおいて差がある

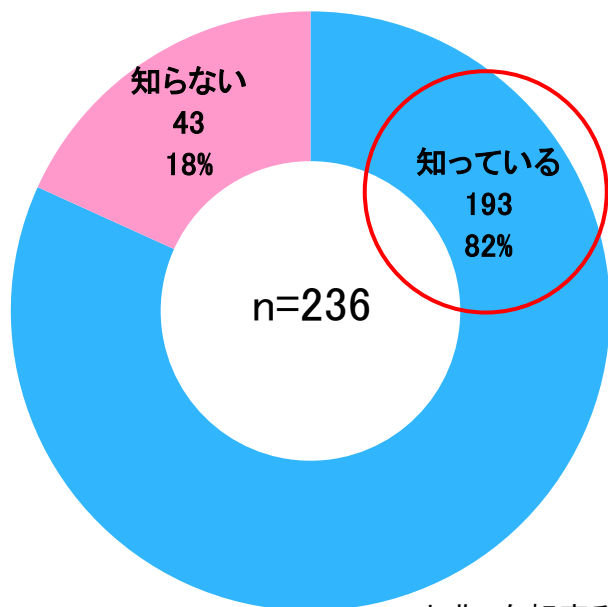


自転車利用についてのアンケート(分析8)

自転車安全利用5則で保護者に努力義務が科せられている
子ども(13歳未満)のヘルメット着用については...

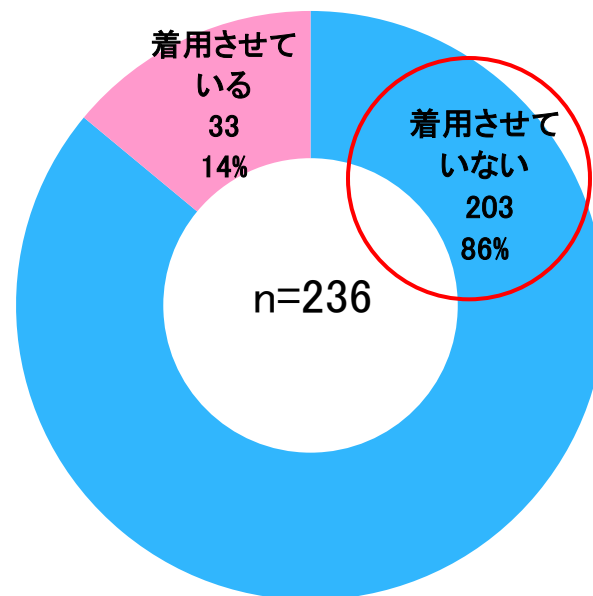
認知度

子ども(13歳未満)のヘルメット着用は
保護者の努力義務である



実施度

子ども(13歳未満)にヘルメット着用を
着用させている



出典: 自転車利用アンケート(対象就学前児童の保護者)

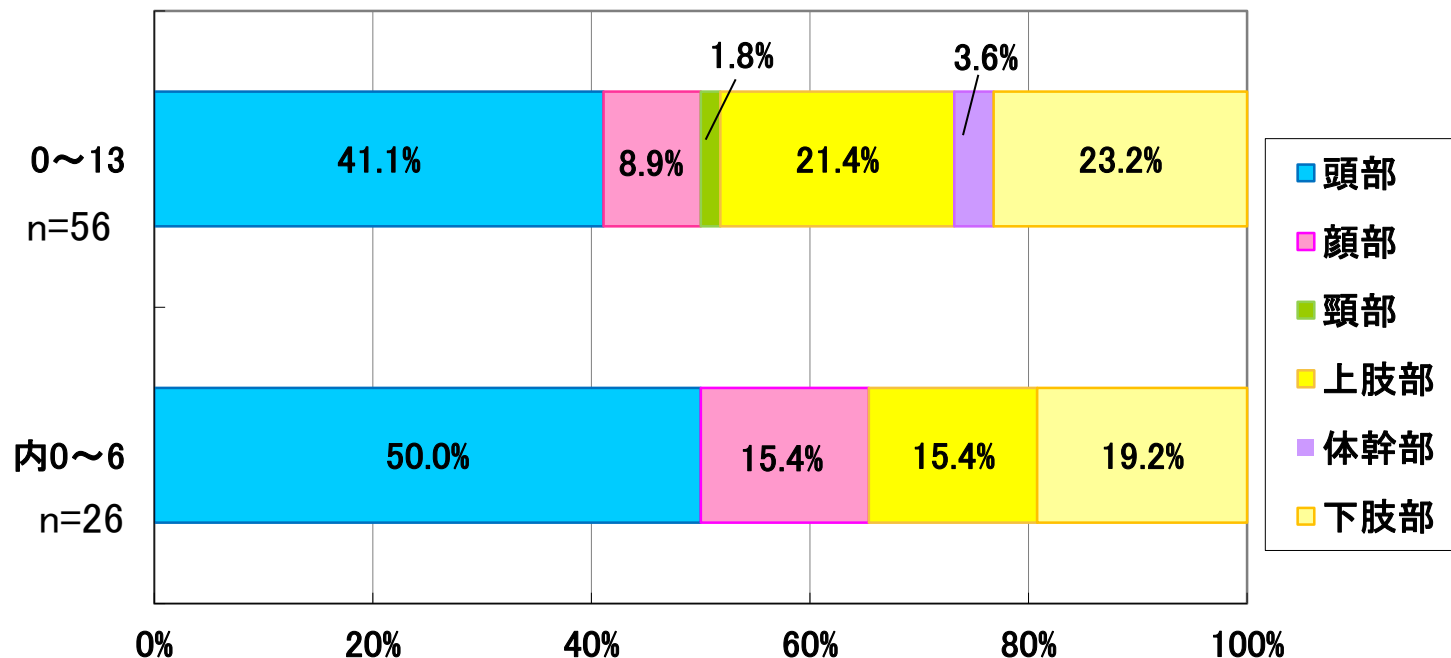
ルールは知っているが、着用させていない



子ども(13歳未満)の自転車事故受傷部位(分析9)

ヘルメット着用に関してルールが有る13歳未満を対象に、
自転車事故による頭部受傷割合を見ると・・・

出典：救急搬送データ(2011)



頭部受傷が多く、特に低年齢(就学前)に多い



分析結果

救急搬送・警察統計データより

分析1

自転車事故により受傷している人が多い

テーマ

自転車の事故やけがの
減少を目指す！

分析2

子ども(未成年者)の事故が多く、次いで高齢者に多い

予防
対象

分析3・4

事故経験者は、ルール違反をしている割合が高い

課題1

分析5

交差点等、事故が起こりやすい場所がある

課題2

自転車ルールについてのアンケートより

分析6・7

交通ルールの遵守は、事故の防止に繋がる

方向性

分析8・9

子どものヘルメット着用率は低く、低年齢層ほど頭部受傷率は高い

課題3



自転車事故、けがの減少に向けた取組みの検討

予防対象

子どもと高齢者

課題

課題2 交差点等、事故が
起こりやすい場所がある

課題3 子どものヘルメット着用率は低く
、低年齢層ほど頭部受傷率は高い

課題1 事故経験者は、
ルール違反をしている割合が高い

方向性

(ハード面)
安全な環境づくり

(アンケート結果より)交通ルールの遵守は
事故やけがの防止に繋がる

危険箇所の把握
(安全マップ作り)

(ソフト面) 自転車利用者の
交通安全意識の向上

取組

①危険箇所への対策

②自転車の交通ルール、マナーの周知
(子どもと高齢者への安全教室等)
③保護者への子どものヘルメット着用啓発



安全な環境づくり

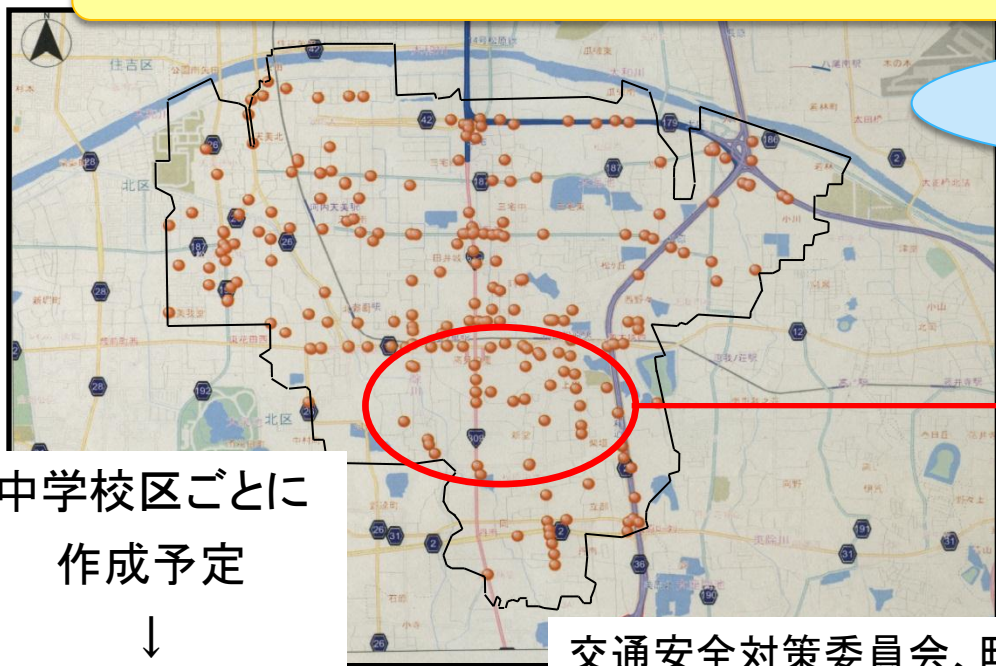
自転車事故が起こりやすい場所は？

警察の把握している自転車関連事故の箇所

タクシー運転手、自動車免許教習教官(プロドライバー)が感じる危険箇所

自転車乗用者が感じる危険箇所

安全マップづくり



中学校区ごとに
作成予定



交通安全対策委員会、町会、PTA協議会の皆様と共に危険箇所を検討

まずは、1校区！



取組① 危険箇所への対策

危険箇所の整備



歩道設置工事

カラー舗装により歩道と車道を明確化した。

歩道拡幅し、段差を解消した。

自転車の走行場所を明確化



危険箇所への対策

道路整備等は、
費用と時間がかかる・・・



セーフコミュニティを始めてからの変化

自転車事故が起こりやすい場所を把握するために、タクシードライバーや自動車教習所の教官、町会、PTA等の協働により、安全マップを作成し、対策に生かしていく取り組みが始まった。



取組② 自転車の交通ルール、マナーの周知

子どもと高齢者への安全教室等

子どもへの交通安全教室



幼少期からの交通安全意識向上が必要

高齢者への交通安全講習



自転車安全利用啓発グッズを配布



セーフコミュニティを始めてからの変化

自転車の交通ルール、特に交差点でのルールを今まで以上に重視して行うこととした。子どもの保護者にも交通安全教室へ参加してもらいより多くの人に周知することとした。

ルール、マナーの啓発活動

小学校・中学校に自転車安全利用啓発CDを配布し、昼休み等の時間に放送する。



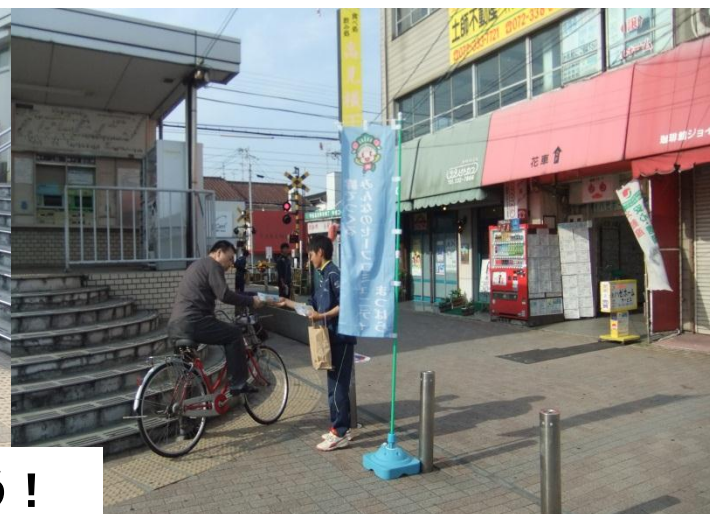
自転車安全利用
5則を街頭で放送
し、周知を図る。

街頭キャンペーンで自転車の点検を行う！

街頭啓発活動
に参加すること
により、交通安
全意識の向上
を図る。



高校生が参加して啓発活動を行う！





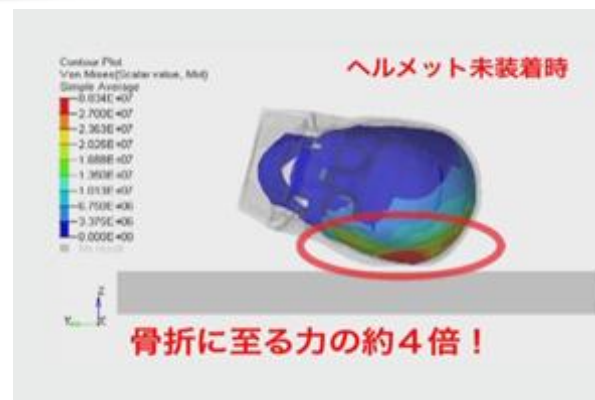
取組③ 保護者への子どものヘルメット着用啓発

幼稚園での啓発活動

現状

子どものヘルメット着用に特化した
取組は行われていなかった！

幼稚園PTA会長の呼びかけにより
始業式にDVDを視聴！



眉毛のすぐ上まで、
深くかぶりましょう。

アゴヒモを
しっかり締めましょう。





幼稚園での啓発活動

子どもにヘルメットを着用させているか

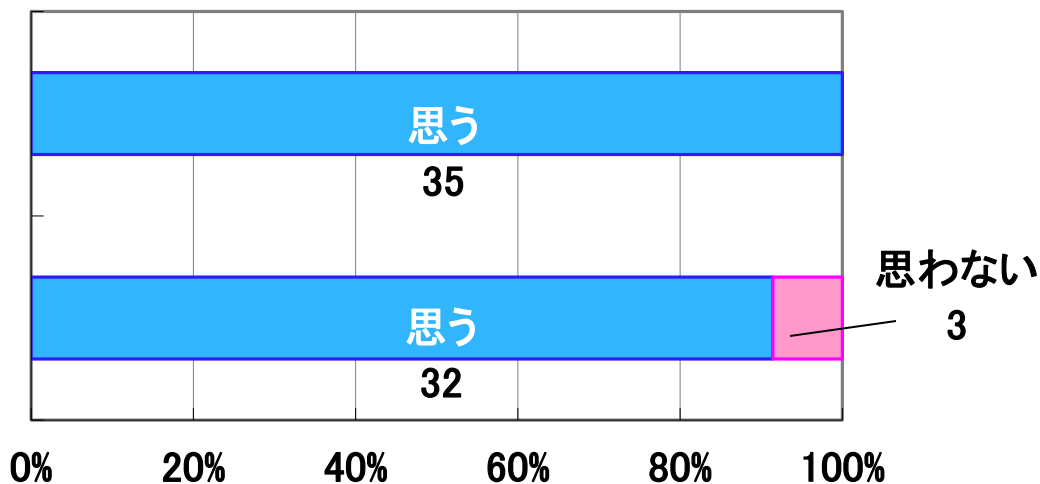
着用させている	8
着用させていない	35

ヘルメットは、所持しているか

所持している	17
所持していない	18

DVD視聴後、ヘルメットは必要と思う

今後、ヘルメットを着用させようと思う



松原市内の全公立幼稚園にDVDを配布！



ヘルメット購入費用の助成



幼児2人同乗用自転車購入費 助成金交付要綱

(子育て中の経済的な負担を軽減することにより、安全性に配慮した自転車利用の促進を図るための助成制度)

今までは自転車購入費用の助成だけだったが...



自転車と同時購入したヘルメット費用の助成を追加



セーフコミュニティを始めてからの変化

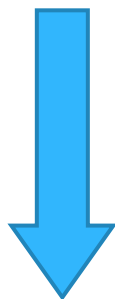
ヘルメットに着用啓発や助成を行うようになった。



取組の効果確認

安全マップづくり(自転車事故に特定した危険箇所の把握)

危険箇所を収集し、マップを作成する地区を増加



(把握した危険箇所を対策に繋げる)

凡例 ①確認方法 ②確認の対象

取組	短・中期的成果指標	長期的成果指標
危険箇所への対策	整備や対策を行った数 ①危険箇所に整備及び看板設置を行った件数 ②整備及び看板設置した箇所	危険箇所の数 ①事故発生場所の数 ②警察記録



取組の効果確認

凡例 ①確認方法 ②確認の対象

取組	短期的成果指標	中期的成果指標	長期的成果指標
<p>交通安全教室等 (自転車の交通ルール、マナーの周知)</p>	<p>自転車ルール、マナーの認知度 ①アンケート調査 ②交通安全教室参加者</p>	<p>自転車ルール、マナーを守っている人の割合 ①アンケート調査(3年ごと) ②自転車乗用者</p>	<p>自転車乗用中の事故の件数・受傷者数 ①警察統計・救急搬送データ ②自転車乗用者</p>
<p>保護者への子どものヘルメット着用啓発</p>	<p>ヘルメットの重要性の認知度 ①アンケート調査 ②就学前児童の保護者</p>	<p>就学前児童のヘルメットの着用率 ①アンケート調査(3年ごと) 幼稚園での現地調査 ②就学前児童の保護者</p>	<p>自転車事故による子どもの頭部受傷者数 ①救急搬送データ ②自転車乗用者(就学前児童)</p>



セーフコミュニティによる変化・気づき

データ分析により課題が明確になった

高校の協力のもと、自転車利用に関するアンケートを実施し、交通ルールの遵守が重要であることがわかった。

交通安全教室等で、自転車安全利用5則を中心としたルールの周知を必ず入れるようになった。

タクシードライバーや自動車教習所の教官、町会、PTA協議会が協働して、安全マップを作成した。

市や警察、関係機関が自転車の安全利用に意識して取組みを行うようになった。



ヘルメットに特化した取組はなかったが、啓発活動から始めることとなった。



今後の課題

現在

高齢者への取り組みとしては、交通安全講習の中で、自転車ルールやマナーの講習を行い、加齢による身体機能の低下が交通事故に繋がることについても周知している。

また、高齢者の安全対策委員会で、転倒予防への取り組みを行っている。



今後は・・・

高齢者の安全対策委員会と連携を取り、取り組みを強化していきます。



ご清聴ありがとうございました

絆でつくる みんなのセーフコミュニティ まつばら